

I 概 況

平成25年1～3月期の出荷数量は、前年同期に比べ、土木向け、建築向けともに増加し、13,931.8千㎡、前年同期比1.9%の増加となった。

1. 需要先別の動向

土木向けは5,931.0千㎡、前年同期比1.4%の増加となった。このうち鉄道・電力向けが291.7千㎡、同▲40.8%、道路向け1,497.9千㎡、同▲7.6%と減少になったものの、港湾・空港向けは748.8千㎡、同52.1%、その他向けは3,392.7千㎡、同4.7%の増加となった。

建築向けは8,000.7千㎡、同2.2%と10期連続の増加となった。このうち官公需向けは1,327.2千㎡、同5.5%、住宅向けは3,758.4千㎡、同1.7%、非住宅向けは2,915.1千㎡、同1.5%といずれも増加となった。

2. 地域別の動向

経済産業局(沖縄は内閣府沖縄総合事務局)別にみると、北海道は428.1千㎡、前年同期比9.5%の増加。このうち土木向けは212.8千㎡、同▲8.7%減少。建築向けは215.3千㎡、同36.4%の増加。

内訳は、鉄道・電力向け(同▲48.1%)、道路向け(同▲17.6%)、官公需向け(同▲4.5%) が減少。港湾・空港向け(同17.7%)、その他向け(同5.8%)、住宅向け(同54.1%)、非住宅向け(同46.2%)が増加。

東北は1,606.1千㎡、同32.9%の増加。このうち土木向けは975.7千㎡、同42.7%、建築向け630.4千㎡、同20.2%と共に増加。

内訳は、鉄道・電力向け(同▲15.8%) が減少。港湾・空港向け(同148.0%)、道路向け(同30.9%)、その他向け(同15.3%)、官公需向け(同41.9%)、住宅向け(同28.0%)、非住宅向け(同4.6%)が増加。

関東は4,949.1千㎡、同▲2.5%と2期連続の減少。このうち土木向けは1,457.1千㎡、同▲9.0%の減少。建築向けは3,492.0千㎡、同0.5%と10期連続の増加。

内訳は、港湾・空港向け(同81.4%)、官公需向け(同3.2%)、非住宅向け(同3.2%)などが増加するものの、鉄道・電力向け(同▲52.0%)、道路向け(同▲11.7%)、その他向け(同▲5.5%)、住宅向け(同▲1.9%)が減少。

中部は1,428.5千㎡、同0.2%の増加。このうち土木向けは625.0千㎡、同▲9.6%の減少。建築向けは803.5千㎡、同9.4%と増加。

内訳は、その他向け(同11.4%)、住宅向け(同11.6%)、非住宅向け(同13.2%)が増加するものの、港湾・空港向け(同▲43.9%)、鉄道・電力向け(同▲72.8%)、道路向け(同▲16.4%)、官公需向け(同▲6.1%)が減少。

近畿は1,505.3千㎡、同▲7.1%と2期連続の減少。このうち土木向けは679.6千㎡、同▲4.5%の減少。建築向けは825.7千㎡、同▲9.1%とともに減少。

内訳は、鉄道・電力向け(同12.7%)、その他向け(同7.5%)、官公需向け(同2.7%)が増加するものの、港湾・空港向け(同▲18.1%)、道路向け(同▲18.1%)、住宅向け(同▲7.1%)、非住宅向け(同▲15.3%)が減少。

中国は998.4千㎡、同0.5%と増加。このうち土木向けは526.7千㎡、同1.5%と2期連続の増加。建築向けは471.7千㎡、同▲0.6%と前期に引き続き減少。

内訳は、道路向け(同▲4.6%)、官公需向け(同▲8.3%)、非住宅向け(同▲7.5%)が減少。鉄道・電力向け(同26.2%)、港湾・空港向け(同0.8%)、その他向け(同5.3%)、住宅向け(同10.5%)が増加。

四国は779.7千㎡、同▲0.9%と減少。このうち土木向けは483.2千㎡、同7.6%の増加。建築向けは296.5千㎡、同▲12.3%と2期連続の減少。

内訳は、鉄道・電力向け(同▲31.0%)、道路向け(同▲11.8%)、官公需向け(同▲9.4%)、非住宅向け(同▲25.7%)が減少したものの、港湾・空港向け(同0.0%)は変わらず、その他向け(同17.5%)、住宅向け(同0.5%)が増加。

九州は1,877.3千㎡、同4.6%の増加。このうち土木向けは892.6千㎡、同2.8%の増加。建築向けは984.7千㎡、同6.2%と11期連続の増加。

内訳は、鉄道・電力向け(同11.1%)、道路向け(同3.6%)、その他向け(同2.3%)、官公需向け(同8.5%)、住宅向け(同3.6%)、非住宅向け(同9.6%)が増加。港湾・空港向け(同▲0.3%)のみが減少。

沖縄は359.3千㎡、同▲3.9%の減少。このうち土木向けは78.5千㎡、同▲12.4%、建築向けは280.9千㎡、同▲1.1%とともに減少。

内訳は、鉄道・電力向け(同▲45.5%)、港湾・空港向け(同▲38.6%)、道路向け(同▲12.4%)、その他向け(同▲1.5%)、住宅向け(同▲11.5%)が減少するものの、官公需向け(同13.6%)、非住宅向け(同33.0%)が増加。

3. 月別の動向

月別に出荷動向をみると、1月が4,107.7千㎡、前年同月比2.2%、2月が4,774.4千㎡、同0.7%、3月が5,049.7千㎡、同2.8%といずれも増加となった。

このうち土木向けは、1月が1,804.1千㎡、同3.2%、2月が2,121.5千㎡、同0.1%、3月が2,005.4千㎡、同1.2%といずれも増加。

また、建築向けも、1月が2,303.6千㎡、同1.3%、2月が2,652.8千㎡、同1.1%、3月は3,044.3千㎡、同4.0%といずれも増加。

4. 設備能力及び従業員数

3月末の全国のプラントの基数は1,804基で、前期末(24年12月末)より8基の増加、前年同期末(24年3月末)より30基減少した。月間生産能力は47,667千㎡、前年同期比▲1.1%の減少となった。

3月末の従業者数は、22,991人、前年同期末より1,284人(5.9%)の増加となった。